

漁海況情報

平成 24 年 9 月 6 日 第 13 号 (通巻 507 号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎 2861-3

TEL : 0837-26-0711 FAX : 0837-26-1042 Mail : a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

【海鳴りネットワーク ホームページ】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

【ウルメイワシの漁況予報】

ウルメイワシの漁況について、現在当センターが入手している情報から今期の予測を行いましたので参考にしてください。

【今後の見通し】

漁獲量 : 前年並み (湊市場、前年 (2011 年) 漁獲量:461 トン)。

漁期 : 小・中羽 (全長 15cm 以下) : 9 月

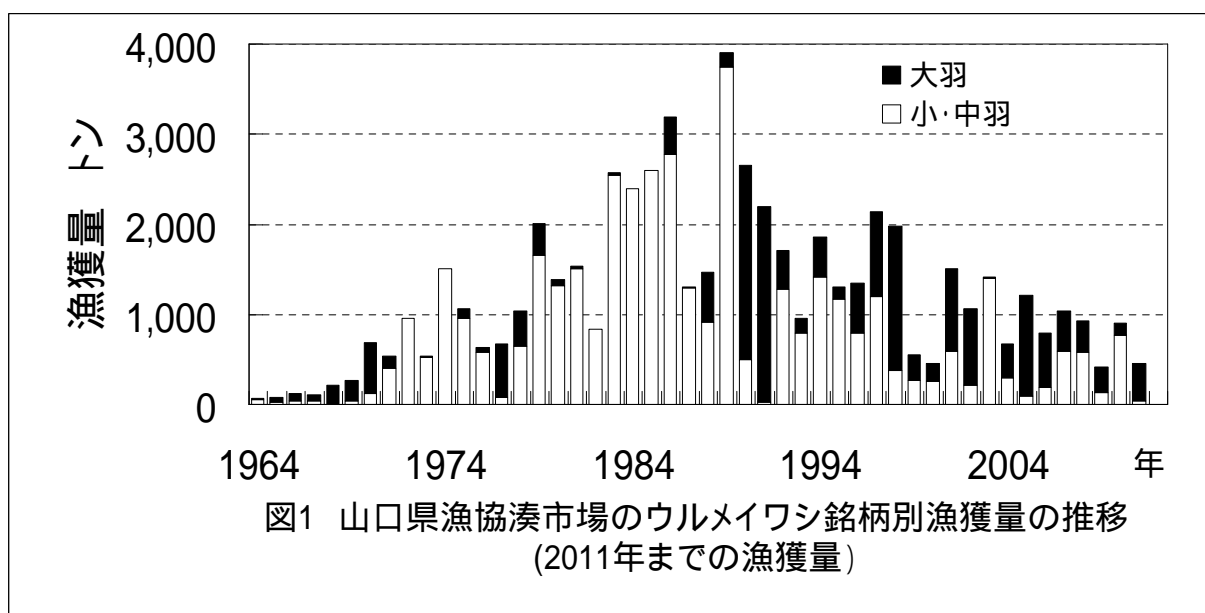
大羽 (全長 15cm 以上) : 9、10 月

【予測の根拠】

1. 漁獲量・資源量の長期変動傾向

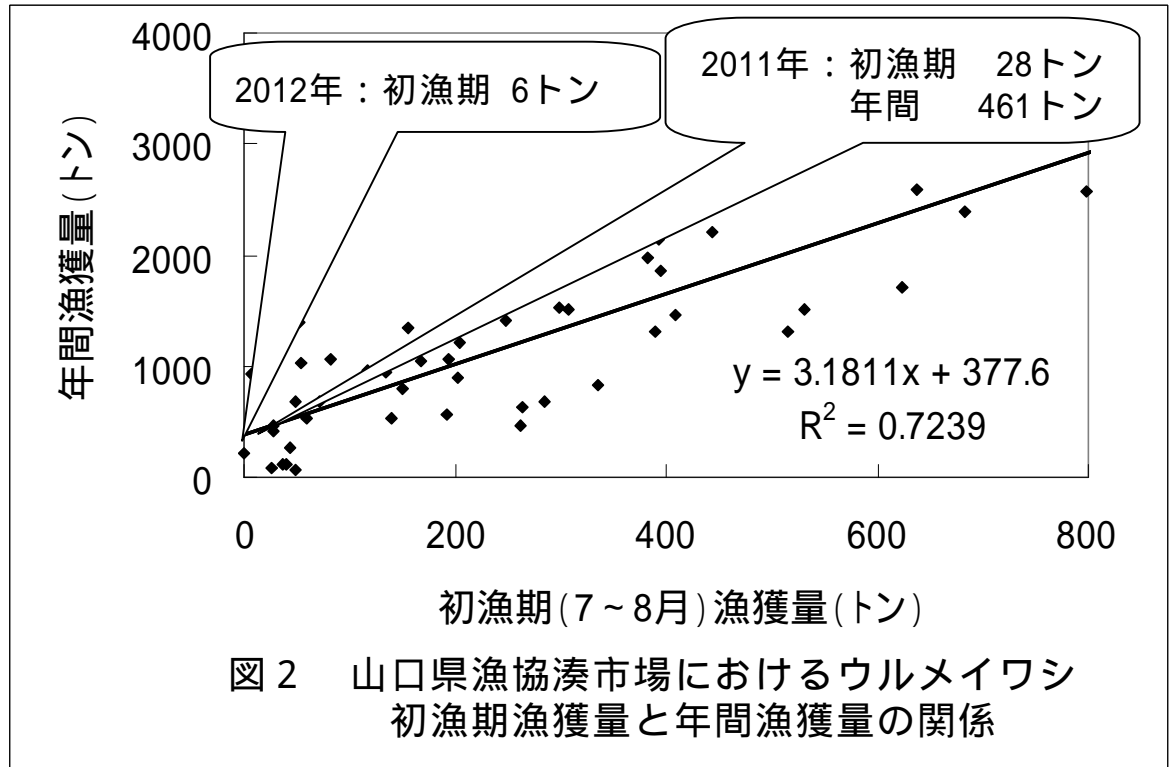
1) 湊市場の漁獲量

浮敷網 (棒受網、すくい網) による漁獲量の推移は、1989 年をピークに、それ以降減少傾向にある。銘柄は 1989 年までは小・中羽が主体だったが、1990 年を境に大羽の割合が増加している (図 1)。例年、8 月から小・中羽が漁獲されはじめ、9 月から大羽が混じるようになる。



2) 初漁期漁獲量と年間漁獲量

湊市場の初漁期（7～8月）漁獲量と年間漁獲量との間には正の相関がみられる（図2）。今年7～8月の漁獲量は6トンと前年よりも少なかったため、年間漁獲量も前年より少ないと予想される。



2. 本年の漁獲量の動向

1) 湊市場の浮敷網による漁獲動向（今年8月末まで）

小・中羽がまとまって漁獲され始めるのは例年8月だが、8月の漁獲量は1.9トンとわずかで来遊が遅れている。

2) 西部各県の漁獲動向

長崎県北松南部海域で操業する中・小型まき網の4～8月の漁獲量は、小羽主体に1316トン（前年同期比264%、平年同期比102%）であった（長崎県総合水産試験場発行・漁海況週報より集計）。

また、福岡県中型まき網の5～8月の漁獲量は135トン（前年同期比1395%、平年同期比105%）であった（福岡県水産海洋技術センター資料）。

3. 今後の見通し

ウルメイワシの来遊が遅れており、前年よりも初漁期の漁獲量は少ないが、長崎県や福岡県で前年以上の漁獲があることから、今後は来遊量が増加し、漁獲量は前年並みになると考えられる。